

「殺生石」物語考

物語の概略⑫

本年も、「殺生石」の物語を、「絵本三國妖婦伝」によつてその概略を述べて参ります。

藻の才能を愛でた堀河天皇もやがて崩御し、七十四代鳥羽天皇の御代になった。十七歳に成長した藻は、博学多才、歌道管弦など出来ないものはなく、かつての小野小町や和泉式部紫式部や清少納言にも劣らぬ才能を示した。それにもまして、その美貌は、春の月の夜桜も暁の芙蓉も、また夕暮れの海棠も、遠く及ばないものであった。

鳥羽天皇は藻を寝殿に召され、深く寵愛し、姪酒に時間を費やし、朝廷の政がおろそかになった。百官は皆眉をひそめた。

元永三年(1120)の晩秋のことである。鳥羽天皇は、待賢門院璋子の、顕仁親王(後の七十五代崇徳天皇) 出産を祝い、高揚殿にて内宴を催された。宴席には、皇子顕仁親王や皇后璋子はもとより、関白忠実公や左

大臣俊房公、右大臣雅実公、

内大臣忠通公をはじめとした公卿、殿上人らが

大勢居並んだ。詩歌管弦に堪能な月卿雲客も

多く召された。寵愛深い藻が召

されていたの言うまでもない。官女たちは酌に立ち、人々は漢

詩をつくり、和歌を詠じた。その、宴たけなわの時である。月

の出の遅い景色が急にうち時雨

れ、一陣の風が吹いたかと思う

と、建て連ねた灯明が残らず打ち

消された。高揚殿の宴席は真

つ暗になり、驚き騒ぐ声に混じ

つて、「松明、松明」と呼ぶ声

があちこちに聞こえた。

その時、藻の身が光を放った。

周囲は忽ち白昼のように照り輝

き、折り戸や屏風、襖に描かれ

ていた絵もありありと見える。

人々は皆、藻を訝しみ、彼女に

奇異の思いを抱いた。が、鳥羽天皇のみは、藻のその神々しさに、ひたすら感嘆する。

筆者 前那須歴史探訪館 館長

齊藤 宏壽 先生(湯本在住)

今月のひとこと

八溝峰に昇る初日は神々しく
那須野ヶ原の朝染めゆく



かつこう

小正月に飾られる餅花は、桃色や白、緑、黄色に色付けした餅をミズノキに刺したもので、町内では「とんぼ団子」と呼ばれている。保育園でもとんぼ団子づくりは恒例の行事で、園児たちははしゃいだ笑顔や真剣な表情を見せながら、伝統行事に親しんでいる▼町のことも未来課がこのほど、保育園児向けの体

操プログラム『なすの森で冒険だ!!』を制作した。保育士たちが創作した体操に、地域おこし協力隊の隊員が曲をつけ完成させた町オリジナルのもの。今後、町内7つの保育園で活用していく▼発案は同課の指導主事、運動苦手を解消するため、幼児期から体操に慣れ親しんでもらおうと、プログラムの制作を考案したという。町に生息する昆虫や動物の動きを真似した分かりやすい体操はとてもユニーク

で、園児たちが親しめる工夫がたくさん詰まっている▼那須地域の言葉で「とんぼ」は引き戸や扉のこと。玄関先の戸口に飾ることから、餅花を「とんぼ団子」と呼ぶと言われている。町の保育園の活動には伝統的なものや新しいもの、そして町ならではの工夫や那須らしさが込められている。「とんぼ」の動きが飛ぶ動きだったり、開け閉めする動きだったり、園児たちの自由な発想が育っていくことを願う。

こんにちは 赤ちゃん



弦巻 柁志くん
(上町)

平成29年 10月2日生

父 憲行さん 母 景子さん

柁志くんは…

白いごはんが大好き!
じいじ、ばあばいつも
ありがとう。

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(12月1日現在・住民基本台帳)
()の数字は前月比

・世帯数 10,284世帯(+1)

・人口 25,311人(-17)

男12,559人(-8) 女12,752人(-9)

あなたの「声」を聞かせてください

地域の身近な情報や、広報「那須」の感想・ご意見をお待ちしています。お名前と連絡先とともに下記までお寄せください。